

平成3年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	子育て支援課
	施策	子育て家庭への支援		電話番号	087-839-2354
	基本事業	子育てと仕事の両立支援		事業実施主体	市
	事務事業	放課後児童クラブ事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	保護者が労働等により昼間家庭に居ない、小学校に就学している児童に対して、授業の終了後等に、小学校の余裕教室、児童館等を利用して適切な遊びおよび生活の場を与えて、その健全な育成を図るとともに、直営の事業を補完するため、学童保育を実施する社会福祉法人等に対して補助金を交付し、事業運営を支援する。
-------	--

3年度概要	公設46か所（うち民間委託1か所）101教室 学童保育（社会福祉法人等）に対する補助17団体 障がい児支援事業 クラブ巡回、支援員研修 教室整備 2校区（仏生山、多肥）
-------	---

重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	1-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）
--------	------	----------	----	---------	-------------------

【事業の目的】

対象（何を）	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校1～6年に就学している児童
意図（どのような状態にしたいか）	児童にとっての安全な居場所を確保するとともに、遊びを通して自主性、社会性、創造性を向上させ、児童の健全な育成を推進する。また、これによって保護者にとって安心して就労できる環境を整える。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
受入可能児童数	人	4,137	4,453	4,538	4,645	4,542

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
放課後児童クラブ入会率	%	目標値	94.1	98.5	97.5	100	100
		実績値	93.89	94	94.7		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 待機児童解消に向け、専用施設（プレハブ）や小学校の余裕教室等の活用などの施設整備を実施し、受入可能児童数は増加したが、利用希望者も増加したため目標値を下回る結果となった。		(目標達成度)					(達成度) 97.1% 33点
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）		(目標達成度)					(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（予算）
トータルコスト	[円]	701,664	877,627	847,254	881,972
（事業費）	[円]	669,475	846,520	816,250	850,968
（職員人件費）	[円]	32,189	31,107	31,004	31,004

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	拡充
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

教育委員会（小学校）の協力を得ながら小学校内の余裕教室等の活用及び新たな施設の整備を進めるとともに、民間学童保育に対し助成を行うなど、受け皿の確保に努めたが、待機児童の解消には至っていない。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

校区ごとの量の見込みの増加に対応するため、公設による整備を基本とし、公設での対応が難しい地区については、民間事業者による整備を推進するなど、必要とする教室数を確保することにより、引き続き、待機児童の解消を目指す。

平成3年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	子育て支援課
	施策	子育て家庭への支援		電話番号	087-839-2354
	基本事業	子育てと仕事の両立支援		事業実施主体	市
	事務事業	放課後子ども教室事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	活動推進員、教育活動サポーターなどを配置し、学び、スポーツ、文化活動、地域の方々との交流活動等を行う。
	対象：小学校1年生～6年生 実施場所：小学校の余裕教室、体育館、運動場、図書室、コミュニティセンター等 実施時間：平日 放課後～午後5時、土曜日・日曜日等 午前9時～正午
3年度概要	放課後子ども教室事業の実施 35校区 / 47校区 継続 33校区 新規 2校区 放課後子どもプラン推進委員会開催 1回 子どもの居場所づくり指導者養成事業(研修会)開催 5回
重点取組事業	特別重点 市長マニフェスト 1- 事務事業の類型 ソフト事業(法律による実施義務無)

【事業の目的】

対象(何を)	小学校の1年生から6年生の児童
意図(どのような状態にしたいか)	子ども達が地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
開設延べ日数	日	1,592	1,607	1,731	2,100	2,200
放課後子ども教室実施校区数	校	33	34	33	47	47

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
参加児童数	人	目標値	45,000	48,000	51,000	54,000	57,000
		実績値	40,845	40,882	42,421		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 目標値は下回ったが、1校区で年間開催数が増加したほか、2校区が平成29年度途中から新規開設したことに伴い、前年度以上の実績となった。	(目標達成度)						(達成度) 83.2% 29点
登録児童数	人	目標値	3,200	3,400	3,600	3,800	3,900
		実績値	2,930	3,074	2,952		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 2校区が平成29年度途中から新規で開設したが、1校区が平成30年度から休室となったことに加え、全体的に登録児童数が減少したことに伴い、目標値を下回る結果となった。	(目標達成度)						(達成度) 82.0% 28点

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	平成31年度(予算)
トータルコスト	[円]	35,725	32,991	33,407	35,050
(事業費)	[円]	21,593	19,334	19,795	21,438
(職員人件費)	[円]	14,132	13,657	13,612	13,612

【評価】

評価ランク (A~D)	B	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	拡充
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)			
継続校区のうち、1校区では参加児童の減少や教室活動を担う人材の確保が困難となり閉室となった。継続校区においては、人材の確保・育成が課題であり、また、未実施校区においても地域の関係団体を組織する構成員の高齢化等が課題となり、新規開設が困難となっている。			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)			
実践的かつ多様な研修を実施し、人材を育成することにより、事業の充実を図るとともに、未実施校区の関係団体に対し、教室開設の働き掛けを継続し、新規開設校区の増加を図る。			

平成30年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	子育て支援課
	施策	子育て家庭への支援		電話番号	087-839-2354
	基本事業	子育てと仕事の両立支援		事業実施主体	市
	事務事業	ファミリー・サポート・センター事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要
 仕事と育児の両立を支援するため、地域において育児の援助を受けたい人で行いたい人が会員となり、育児について相互に助け合つた会員（有償ボランティア）組織をつくり、その拠点となる「たかまつファミリー・サポート・センター」を設置し、会員組織の運営管理や相互援助活動の調整・支援などを行う。援助活動内容としては、保育施設への送迎、保育時間前後の子どもの預かり、保護者の病気や急用時、冠婚葬祭、上の子どもの学校行事など外出時の子どもの預かりなどがある。事業運営は、公募により特定非営利活動法人に委託実施。

3年度概要
 登録会員数見込：2,700人（依頼会員1,940人、提供会員630人、両方会員130人）
 援助活動件数見込：6,900件
 会員養成講座：年間計3回開催、会員スキルアップ講座：年2回開催、会員交流会：年2回開催
 ファミサボ通信：26・27号発行
 幼児教育無償化に伴う給付

重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務有）
--------	------	----------	---------	-------------------


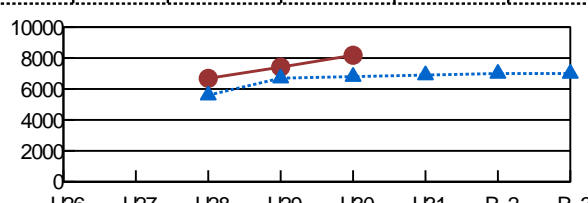

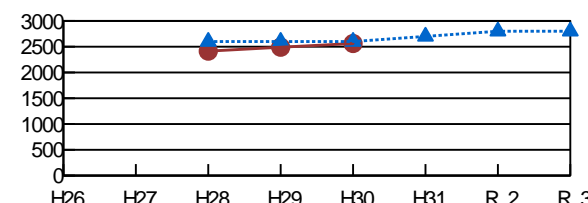
【事業の目的】

対象（何を）	育児などの援助を必要とする人と援助を行いたい人
意図（どのような状態にしたいか）	子育て家庭が仕事と育児を両立できる環境を整備し、地域ぐるみの子育て支援・児童健全育成を推進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
センター運営延べ日数	日	299	308	308	308	308

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
ファミリー・サポート・センター事業利用件数	件	目標値	5,600	6,700	6,800	6,900	7,000
		実績値	6,686	7,413	8,181		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 平成30年度は、広報誌の発行や交流会の開催など、制度の周知に努め、目標を達成した。 							(達成度) 120.3% 35点
ファミリー・サポート・センター登録会員数	人	目標値	2,600	2,600	2,600	2,700	2,800
		実績値	2,414	2,490	2,562		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 平成30年度は、広報誌の発行や交流会の開催など、制度の周知に努めたが、目標には達していない。 							(達成度) 98.5% 34点

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（予算）
トータルコスト	[円]	15,142	19,150	18,940	19,517
（事業費）	[円]	12,787	13,080	12,890	13,467
（職員人件費）	[円]	2,355	6,070	6,050	6,050

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	----------	---------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

平成30年度末現在、相互援助活動件数8,181件、登録会員数は2,562人であり、前年度に比べ、活動件数、会員数ともに増加している。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

今後も講習会及び交流会を定期的に開催し、提供会員の層を厚くし、安定したサービスの提供に努める。

平成30年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	こども園総務課
	施策	子育て家庭への支援		電話番号	087-839-2359
	基本事業	子育てと仕事の両立支援		事業実施主体	市
	事務事業	私立保育所運営支援事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	子ども・子育て支援新制度において、私立保育所に対し、法で定める公定価格に基づき、委託費を支払うとともに、私立保育所が保育を行うことに要する費用を支弁する。				
3年度概要	主な事業内容 1 一般運営費（基本単価、事務加算、処遇加算、施設機能強化加算など） 2 地域活動事業（世代間交流事業ほか） 3 延長保育 4 障がい児保育 5 地域子育て推進事業 6 一時預かり事業 7 その他（産休等代替職員賃金等補助金、保育所事業等補助金、保育体制強化事業）				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型			

【事業の目的】

対象（何を）	私立保育所
意図（どのような状態にしたいか）	私立保育所が児童福祉法に定める最低基準を維持しつつ、安定的な保育が実施できるよう運営支援する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R.2
運営費交付件数	件	38	39	38	37	37

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R.2
成果指標	待機児童数（4月1日現在）	人	目標値	279	0	0	0	0
	実績値	321	224	62				
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)
	まだ待機児童が発生している状況である。	(目標達成度)						
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R.2
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（予算）
トータルコスト	[円]	5,212,138	5,377,850	4,970,537	4,870,120
（事業費）	[円]	5,205,857	5,371,780	4,964,487	4,864,070
（職員人件費）	[円]	6,281	6,070	6,050	6,050

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

--

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

--

平成30年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	こども園総務課
	施策	子育て家庭への支援		電話番号	087-839-2359
	基本事業	子育てと仕事の両立支援		事業実施主体	その他
	事務事業	認可外保育施設支援事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	認可外保育施設に対し補助することにより、認可外保育施設に入所している児童の福祉向上を図るとともに、保護者の子育てに係る経済的負担の軽減を図るため、施設に入所している第2子以降の児童の保護者に対して補助する。また、一定の基準を満たす認可外保育施設を高松市すこやか認定保育所として認定し補助することにより、認可外保育施設の保育水準および入所児童の福祉の向上を図る。		
3年度概要	認可外保育施設に対し補助することにより、認可外保育施設に入所している児童の福祉向上を図るとともに、保護者の子育てに係る経済的負担の軽減を図るため、施設に入所している第2子以降の児童の保護者に対して補助する。また、一定の基準を満たす認可外保育施設を高松市すこやか認定保育所として認定し補助することにより、認可外保育施設の保育水準及び入所児童の福祉の向上を図る。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象(何を)	認可外保育施設
意図(どのような状態にしたいか)	認可外保育施設に対する補助によって、保育水準及び入所児童の福祉の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
認可外保育施設補助金交付件数	件	8	7	6	6	8

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
待機児童数(4月1日現在)	人	目標値	279	0	0	0	0
		実績値	321	224	62		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) まだ待機児童が発生している状況である。(目標達成度)							(達成度)
成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	平成31年度(予算)
トータルコスト	[円]	48,430	54,014	52,031	58,489
(事業費)	[円]	42,149	47,944	45,981	52,439
(職員人件費)	[円]	6,281	6,070	6,050	6,050

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

--

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

補助金の手続きで、施設が提出する書類等に不備が多く、書類の差換えや説明に時間を要しているため、わかりやすい記載例などを作成・配布することで、事務量の軽減を推進する。
--

平成3年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	子育て支援課
	施策	子育て家庭への支援		電話番号	087-839-2354
	基本事業	子育てと仕事の両立支援		事業実施主体	市
	事務事業	病児保育事業		事業期間	平成28年度～平成30年度

【事業全体概要】

事業の概要	児童が病気回復期（病後児）又は病気の回復期には至らないが、当面症状の急変が認められない場合で、まだ集団保育ができません。保護者も仕事等の理由により家庭で育児ができない場合に、医院等に付設された専用スペースで一時的に預かることにより、保護者の子育てと仕事の両立、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進を図り、安心して子育てができる環境を整備する。
-------	--

3年度概要	委託施設（医療機関6か所）（病児対応型） トビウメ小児科・西岡医院・小林内科小児科医院・へいわこどもクリニック・しぶや小児科・新規病児保育施設
-------	--

重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型
--------	----------	---------


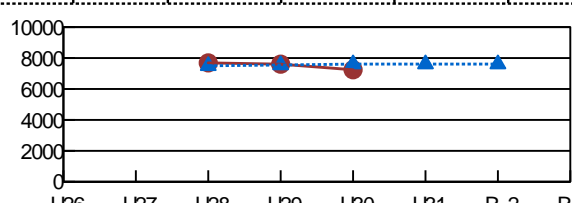
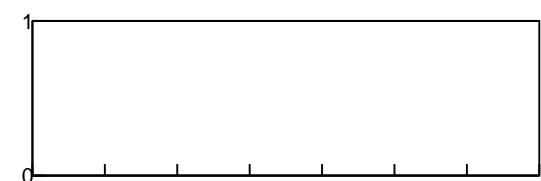
【事業の目的】

対象（何を）	小学校6年生までの児童とその親
意図（どのような状態にしたいか）	子育てと仕事の両立、仕事と生活の調和（ワークライフバランス）の推進を図り、安心して子育てができる環境を整備することを目的とする。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
施設開設延べ日数	日	1,158	1,179	1,264	1,400	1,400

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
病児・病後児保育事業利用者数	人	目標値	7,500	7,550	7,610	7,610	7,610
		実績値	7,687	7,604	7,242		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 女性の就労者の増加に伴い、病児保育のニーズが高まり、開設日数も増加した。昨年度より利用者は減少したものの、成果指標の目標は達成できた。 							(達成度) 95.2% 33点
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
		目標値					
		実績値					
							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（予算）
トータルコスト	[千円]	113,784	109,812	120,182	136,252
（事業費）	[千円]	107,503	103,742	114,132	130,202
（職員人件費）	[千円]	6,281	6,070	6,050	6,050

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	拡充
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

当初、病児保育室4か所、病後児保育室1か所で事業を実施していたが、市民の利便性を考え、病後児保育室を閉室し、7/1から病児保育室5か所で事業を実施。保護者の子育てと仕事の両立、ワークライフバランスの推進を図り、安心して子育てができる環境の整備を図った。病児保育室を新設することにより、開設日数がかなり増加したが、受入人数には限りがあるため、新たな病児保育施設の開設が必要である。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

病児保育室6か所開設を目標に新規開設施設を選定し、より利用しやすい病児保育を目指す。

平成3年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	こども園総務課
	施策	子育て家庭への支援		電話番号	087-839-2359
	基本事業	子育てと仕事の両立支援		事業実施主体	市
	事務事業	小規模保育事業等地域型保育給付事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	子ども・子育て支援法第29条第1項に基づき、支給認定子どもが特定地域型保育事業者から特定地域型保育を受けるに要した費用について地域型保育給付費を支給するもの。		
3年度概要	小規模保育事業等地域型保育給付費（特別保育事業を含む） 16施設		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象（何を）	地域型保育事業所
意図（どのような状態にしたいか）	地域型保育事業所が、子ども・子育て支援法に定める最低基準を維持しつつ、安定的な保育が実施できるよう運営支援する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R.2
給付支給先事業数	件	4	9	13	16	3

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R.2
成果指標	待機児童数（4月1日現在）	人	目標値	279	0	0	0	0
	実績値	321	224	62				
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） まだ待機児童が発生している状況である。（目標達成度）							(達成度)
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） （目標達成度）							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（予算）
トータルコスト	[円]	170,198	311,525	494,323	704,837
（事業費）	[円]	169,413	310,766	493,567	704,081
（職員人件費）	[円]	785	759	756	756

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

--

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

各事業の利用状況の把握に努め、地域の教育・保育に係る提供体制を確保し、新制度を円滑に施行する。

平成3年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	こども園運営課
	施策	子育て家庭への支援		電話番号	
	基本事業	子育てと仕事の両立支援		事業実施主体	
	事務事業	保育士確保緊急対策事業		事業期間	平成30年度～令和4年度

【事業全体概要】

事業の概要	待機児童解消に向けて、公募による認定こども園への移行や保育所の創設等を進めているところであるが、一方で保育士の不足により、定員まで児童を受け入れできない保育所等もある。特に保育士不足傾向にある私立保育所等において、保育士の確保が図られることが緊急の課題となっていることから、期間限定で本市独自の緊急対策事業を実施する。			
3年度概要	潜在保育士就職支援事業 保育実習旅費支援事業 新卒保育士一時金支給事業 保育士宿舍借上げ支援事業 (国庫補助 1/2、事業主負担 1/4)			
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	1-	事務事業の類型

【事業の目的】

対象(何を)	保育所等利用待機児童
意図(どのような状態にしたいか)	施設整備と併せて、保育士確保が図られることにより、待機児童の確実な解消につなげることができる。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
補助金交付人数	人			4	52	87

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
待機児童数(4月1日現在)	人	目標値			0	0	0
		実績値			62		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)	「高松市子ども・子育て支援推進計画」に基づき、保育所の創設等による受け皿の整備が進んだことにより、一定の解消は図られてきたが、保育士の確保ができず、定員数まで児童を受入れできない保育所等もあり、待機児童解消には至っていない。 (目標達成度)						(達成度)
成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)	(目標達成度)						(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	平成31年度(予算)
トータルコスト	[千円]			1,049	6,156
(事業費)	[千円]			293	5,400
(職員人件費)	[千円]			756	756

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	----------	---------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

チラシやケーブルテレビ等で事業内容を広く周知したほか、市内全私立保育所等を対象とした本市及び県の保育士確保事業に関する説明会を開催した。しかし、申請者数は当初予定よりも少なかった。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

今後も事業について周知を関係機関等に実施し、申請者の増加に努める。